

橘本神社・菓子祭

(令和7年4月6日)

No. 1



よみうり新聞(4月7日)

菓子業界 発展しますよう

ミカンや菓子の神様とされる「田道間守」をまつる海南市の橘本神社で6日、「菓子祭・全国銘菓奉献祭」が営まれ、関係者らが業界の発展を祈願した。

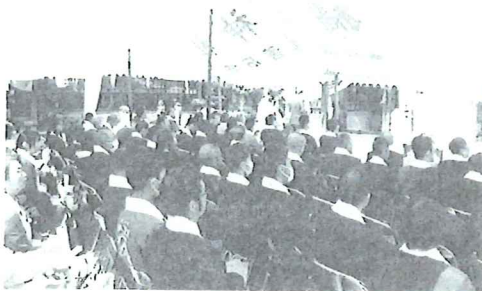
伝承によると、田道間守は垂仁天皇の時代、ミカンの原種で菓子の起源とされる橘を日本へ持ち帰り、同神社の旧社地「六本樹の丘」に植えたという。この故事により、1965年から祭典を開いている。

今年は、製菓会社を中心に

海南・橘本神社で奉献祭

全国約200の企業・団体からスナック菓子やアメといった菓子や飲み物などが神前に供えられ、前山和範宮司が祝詞を奏上。巫女による舞や玉串などが奉納され、境内では餅まきも行われた＝写真＝。

橋本市の菓子店「浪花堂」を営む県菓子工業組合の中井啓祐理事長は「お客様に満足してもらえよう日々心掛けて品物を作っている。より一層、いい品物を作っていきたい」と話した。



また前山宮司は祝詞の中で、来月末から開催される菓子大博覧会の成功祈願も読み上げられた。奉献祭後に行われる餅（お菓子含）投げには多くの人が集まり、お餅とお菓子を手にした。その後、菓子業界関係者の直会後散会した。

菓子業の祖神として知られる橘本神社（和歌山県海南市・前山和範宮司）では、毎年恒例「第61回銘菓奉献祭」を4月6日に開催した。

前夜に降った雨も上がり桜は満開、しだれ桜七分咲きの境内には大型テントが用意され、多くの参加者が集った。境内に用意されたイス100脚ほどは満席。国を祈願。

菓祖・橘本神社銘菓奉献祭

全国より203企業が奉献

名古屋市
菓子館新聞

(4A11日)

和歌山新報社 (令和7年4月9日)

(7)

2025年(令和7年)4月9日(水曜日)

海南

ミカンと菓子之神
様である「田道間守
命(たちまもりのみ
こと)」を祭る橋本神
社(海南市下津町橋本、前

山和範宮司)で6日、春の
大祭「菓子祭・全国銘菓奉
献祭」が行われた。
同神社のある同地区に、
田道間守命が中国から持ち

菓子業界の飛躍願う

橋本神社で春の大祭



祝詞を奏上する前山宮司

帰ったとされる橘が日本で
最初に植えられたことか
ら、ミカン発祥の地とされ
る。昔の人は橘を菓子とし
て食べており、同神社は、
ミカンと菓子の神様として
親しまれている。

大祭には、全国から製菓
企業の代表者ら約100人
が参列。全国の菓子業者2
03社以上が和菓子や洋菓
子などの菓子を供え、菓子
業界の発展などを祈った。
前山宮司が地元産のデコポ
ンや紅白のおぼろまんじゅ
うなどを神前に供え、祝詞
を奏上し、みこが「浦安の
舞」を舞い、参列者は玉串
をささげた。

ことし5月、北海道の旭川
で全国菓子大博覧会が開か
れ、期間中、田道間守公を

お祭りすることや、大阪・
関西万博においても多くの
菓子メーカーが協賛するこ
とから、前山宮司は「こと
しはお菓子業界の節目で飛
躍の年。業界の発展と繁栄を
祈願した」とあいさつした。

奉献祭に参列した、フル
タ製菓(株)の古田盛彦代表取
締役社長は「ことしはお菓
子の大きなイベントが二つ
あり、和や洋、駄菓子など
さまざまな業界が集まる。
力を合わせて成功させた
い」と話した。

神前に供えられた銘菓は
祭典終了後、おさがりとし
て社会福祉団体に寄贈され
る。奉献祭の後には、餅とお
菓子がまかれ、境内に集ま
った人は福を求め、餅やお
菓子を手に入っていた。

和歌山持報社（令和7年4月11日）

(11)

海草版



4/6

和歌山特報 昭和48年7月18日(第三種郵便物認可) 発行

菓子業界の繁栄祈る

田道間守祀る 橘本神社(海南市下津町)で菓子祭



祝詞奏上する前山宮司



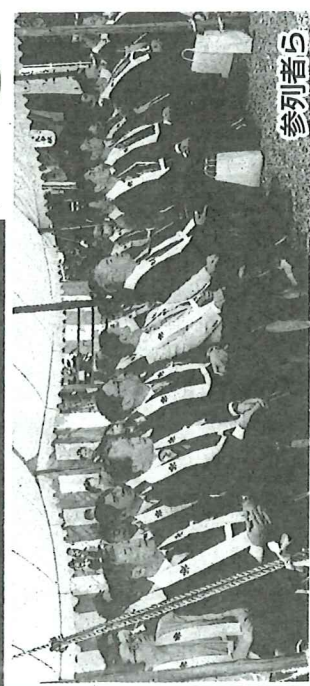
夫賑わいのモチ投げ

▽…桜満開の中、みかんとお菓子の神様・田道間守をも祀りしる海南市下津町の橘本神社で4月6日、こしとで6回目となる「菓子祭・全国銘菓奉獻祭」が行われた。

こしとで神前には北海道から九州まで全国の菓子メーカー203社が奉納した

自慢のお菓子がくつろと並んだ。

式典では、前山和範宮司が菓子業界のますますの繁栄、各社の繁盛、またこしとで月に旭川で開催の全国菓子大博覧会の成功、世界農業遺産の認定を祈念して祝詞奏上。巫女舞奉納やハッピー姿の地元の小学生在がオルガンの伴奏に合わせて、田道間守をたたえる歌を元気うづほい合唱した。



参列者ら



元氣うづほい田道間守の唄を歌う子供たち

玉木有田市長をはじめとする来賓多数、菓子メーカーら参列者らが次々と玉串を奉奠。尾崎県議、玉木有田市長、秋山秀行氏(駄菓子で世界を笑顔にする会代表理事)が祝辞。

祭典のあと、モチ投げが行われ、大人も子どもも大に楽しんだ。

とともに、土産菓子の力強さも実感できた。菓子博とともに、皆さんと力を結集し成功させたい」と挨拶した。続いて、兵庫県菓子工業組合西村欣祐理事長が乾杯挨拶で、「和菓子は包み隠す文化で保

(令和7年4月28日号)

61回橋本神社銘菓献祭 全国から204社が奉納



あいさつする前川和範宮司



商工連から参拝者

【第61回菓祖 橋本神社銘菓奉献会】が4月6日午前11時から和歌山県海南市下津町橋本の菓祖橋本神社(前山和範宮司)において盛大に執行された。大阪府菓子商工協同組合連合会からは、松葉善治氏(㈱ベル玩菓)、中野 幹氏(ジャック製菓㈱)、古田盛彦氏(フルタ製菓㈱)、藤原厚子氏(浪速育松月)、中島正揮氏(亀屋茂廣)が参拝した。



餅、お菓子をまく様子

八木 製菓 奉納
大阪6751282番

を祈願▽巫女による「浦安の舞」を奉納▽橋本神社子ども会の児童が「田道間守の歌」を斉唱した。だがしで世界を笑顔にする会・秋山秀行代表理事が「第61回菓祖 橋本神社銘菓奉献会」が執り行われおめでとうございませう。昨年は、だがしおじさんの衣装で出席させていただいた。今日は、のちほど「餅・お菓子投げ」が行われる境内にて「だがしおじさん」に扮すうして子どもたちに、だがしおじさんのシールをプレゼントしたい」と前置きしたのち、11年前に前山宮司より「3月12日は、お菓子の神様である田道間守の命日」ということをお聞きしたのがきっかけとなり私たちの活動が始まり、この場において一年間の報告をさせていただきます。今年はお宮司一拝で神事を終えたのち、前山宮司が「桜の



子ども達から人気を集めただがしおじさん



大きな能登半島に行きイベントを行い、その後、新潟県の幼稚園にも足を運びマスコミ(新聞社・TV)に取材してもらった。来年は、和菓子とコラボし、京都の和菓子屋さんとのイベントを計画しています。今後は世界に広げていきたいと思っています」と祝辞を述べた。

祝電披露、撤饌、閉扉、宮司一拝で神事を終えたのち、前山宮司が「桜の満開の時期に61回銘菓奉献会が開催されたことを嬉しく思います。今年も全国津々浦々から204社のお菓子メーカー様から奉納していただきます。5月には北海道において全国菓子大博覧会が、お菓子メーカーク様から奉納していただきます。また、だがしおじさんに扮した秋山社長が『だがしおじさんのシール』(写真)を配って子どもたちには大喜びだった。このあと社務所の2階で直会に移り、橋本神社銘菓奉献会代表で和歌山県菓子工業組合の中井啓祐理事長(浪花堂)が開宴の挨拶に続き、フルタ製菓(株)の古田盛彦社長が「第61回橋本神社銘菓奉献祭に初めて参加させていただきます。好天に恵まれて執行され前山宮司様が菓子業界の繁栄を祈願していただき有難うございました。今年は4月13日から『大阪・関西万博』、5月30日から北海道にて『第28回全国菓子大博覧会』が開催されますが、是非成功してほしい」と祝辞を述べたのち、兵庫県菓子工業組合

「餅投げ」に駆け付けた。このあと、境内では、多々の人達に参列者より「餅やお菓子」を撒き親子連れの人々は大きな袋を持って「餅やお菓子」をキャッチし好評だった。また、だがしおじさんに扮した秋山社長が『だがしおじさんのシール』(写真)を配って子どもたちには大喜びだった。このあと社務所の2階で直会に移り、橋本神社銘菓奉献会代表で和歌山県菓子工業組合の中井啓祐理事長(浪花堂)が開宴の挨拶に続き、フルタ製菓(株)の古田盛彦社長が「第61回橋本神社銘菓奉献祭に初めて参加させていただきます。好天に恵まれて執行され前山宮司様が菓子業界の繁栄を祈願していただき有難うございました。今年は4月13日から『大阪・関西万博』、5月30日から北海道にて『第28回全国菓子大博覧会』が開催されますが、是非成功してほしい」と祝辞を述べたのち、兵庫県菓子工業組合

4月19日「Genom」で紹介
今回、橋本神社銘菓奉献会前に、映像制作(CM・MV・TV番組・映画)の大江達磨ディレクターよりインタビューを受けた前山宮司は、田道間守及び橋本神社の歴史を詳細に説明。この模様は4月19日の「Genom」にて紹介された。

西村欣祐理事長(㈱西村清月堂)の音頭で乾杯し、和やかな雰囲気の中で歓談し散会した。